

平成27年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山岸和美
	全体計画						経費区分		-		内線	3112
事務事業名	4037 低公害自動車導入事業											
所 属	050100 総務部・総務課											
施 策	03011100 環境を守る活動の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020106 総務費・総務管理費・車両管理費										
	事業	020000 低公害自動車導入事業										
事業目的						事業概要・効果						
効率的な公務の執行のみならず、二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止の一助とするとともに、市民の環境保護意識の醸成を図る。						集中管理車両として低公害自動車の導入。						

PLAN-DO
年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
平成26年度 実績	平成27年度 予定
普通乗用車、車両リース更新の際に低公害自動車を導入（1台） 集中車両管理公用車のうち、低公害自動車8台	普通乗用車の更新予定なし 低公害自動車保有 8台

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成26年度 決 算	平成27年度 予 算
事業費		3,737	3,586
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		3,737	3,586
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		3,737.0	3,586.0

(単位：千円)

平成26年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,737	車両リース料

(単位：千円)

平成27年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,586	車両リース料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	国家的な課題である温暖化防止計画推進のため、率先した取り組みを推進した。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	低公害自動車の導入により二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化防止の一助となっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	用途目的を絞った車両の選定を実施していく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

現在、低公害自動車に対応できる車種については全て対応しているため、事業拡大の予定はない。
 今後は、アイドリングストップなど運転方法の啓発等により、効果を高めていく。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
低公害自動車を進めてきたが、今後は軽自動車を電気自動車に替えていくことも視野に研究したらどうか。		より環境にやさしい車両（電気自動車など）の更新に努めてほしい。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	